

1	表題名(ふりがな)	小川遺跡(おがわいせき)		
2	資料名(ふりがな)	小川津(おがわつ)		
3	作成者(所属)	小阪大(白山市文化財保護課)		
4	内容分類	地域文化資料		
5	内容細目	郷土・歴史		
6	実施年度	令和元年		
7	地域・場所	石川県白山市小川町		
8	検索語(キーワード)	小川津(おがわつ)、小白山社(しょうはくさんしゃ)		
9	内容	<p>小川遺跡は、日本海に面する白山市小川町に位置する。ここには、16世紀まで津(港)があり、北陸道と日本海の船舶を結んでいた。ここは、かつて手取川の本流が通っており、渡河する基点であったことから、白山信仰の重要な場所とされ、小白山社がおかれていた。現在は、手取川の本流は西側に移動し水田地帯となっている。中世にこの場所を通過した遊行上人の聖絵(京都市本光寺)には、渡河する遊行上人と念仏行者一向が川の対岸左右でにらみあっている中で描かれている(源氏と平氏)。その背後に、白山の方から一向を見守る毘沙門天が描かれている。長寛元年に記された「白山之記」には、ここにあった諸堂が詳細に記している。平成2年と平成26年から27年に開発事業によって緊急発掘調査が行われ、12世紀から16世紀に営まれた津集落と見らる区画跡や石組井戸跡が発見された。特に井戸跡は約300基発見され、ここに津を主体とする集落があったことが確認されている。</p>		
10	特色	古代の都市、交通史を示す上で重要な遺跡と言え、保護措置が求めされる。		
11	提示種類	静止画(JPEG)		
12	関連資料	「小川遺跡」発掘調査報告書 平成2年石川県埋蔵文化財センター		
13	利用分野	デジタルアーカイブ資料、歴史遺産資料		
14	ファクトデータ			
15	プロセス			
16	結果			
17	記録媒体	静止画(JPEG)		

18	権利者(連絡先)	白山市文化財保護課		
19	協力者(連絡先)			
20	許諾情報			
21	利用注意			
22	登録日		2019年12月24日	